

Future of Fairness: Comprehensive and Normative Examination



公正の未来を広く深く考える

グローバル化する世界において「公正さ」とはどのような意味を持つでしょうか。

本シンポジウムでは、ビジネス倫理の専門家二人をドイツから招き、ますます世界規模で結びつきつつある社会や経済にとって、倫理には何ができるのかについて語っていただきます。それに対して、日本の法哲学者二人が議論を挑みます。実験的な手法を用いた斬新な観点の議論から、深く根源的な問題提起まで、刺激的なディスカッションを行います。また、レクチャーでは、最新の科学技術が私たちの倫理観に突きつける問題について考えます。かつては近未来社会の象徴であった自動運転される車が行きかう光景。このような社会は実際にすぐそこまで来ています。しかし、そこには今まで考えたこともなかった倫理的問題が潜んでいないでしょうか。だとしたら、私たちは、この新しい科学技術に対して、倫理的にどのように向き合えばよいのでしょうか。このレクチャーでは、実際にドイツで倫理審査委員会の実務に携わった専門家が分かりやすく解説します。

[プロフィール]



●クリストフ・リュトゲ (ビジネス倫理・教授)

経済倫理、ビジネス倫理、実験倫理、倫理とリスク、インターネットと倫理、科学技術と倫理、科学における哲学を研究。バヴァリアン建築産業協会倫理委員会の副議長などの要職を歴任。『秩序の倫理か過剰なモラルか—社会をつないでいるものは何か』(原題 Order Ethics or Moral Surplus: What Holds a Society Together?) 等著書多数。



●マシアス・ウール (「デジタル化の倫理」研究グループ・ジュニアリーダー)

デジタル化の倫理、実験経済学、実験倫理、ビジネス倫理、科学における哲学を中心に幅広い関心で活躍する気鋭の若手研究者。

千葉大学「未来型公正社会研究」第3回国際シンポジウム

[日時] 2017年 **10月30日** [月] 14:30-17:30

[場所] 千葉大学 人文社会科学部 法政経学部 マルチメディア会議室

October 30, 2017 (Mon)

Multimedia Conference Room (Chiba University, Nishi-Chiba Campus)

「ビジネス倫理の観点からの公正とは」

クリストフ・リュトゲ (ミュンヘン工科大学) コメント: 嶋津格 (獨協大学)

“Fairness from a Business Ethics Perspective”

Dr. Christoph Lutge (Technical University of Munich)

Comments: Dr. Itaru Shimazu (Dokkyo University)

「公正さを実験する」

マシアス・ウール (ミュンヘン工科大学) コメント: 川瀬貴之 (千葉大学)

“Fairness Experiments”

Dr. Matthias Uhl (Technical University of Munich)

Comments: Dr. Takayuki Kawase (Chiba University)

※使用言語: 英語

